



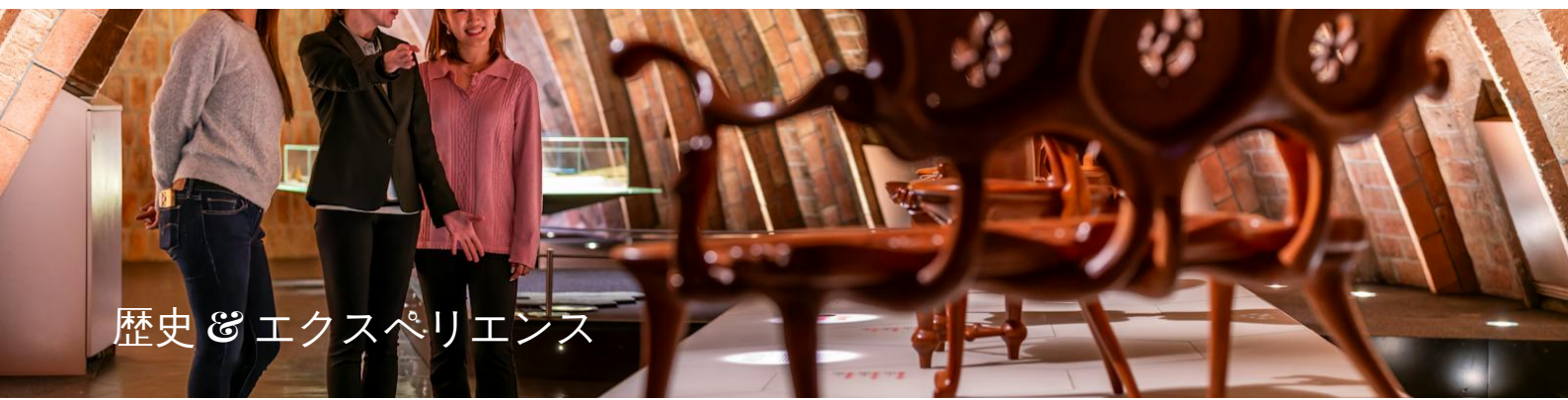
P

訪問ガイド 2026

カサ・ミラ・ペドレ ラ

バルセロナ・から 29€

<https://casamila.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

石切り場から世界遺産へ

GOOGLE **4.6** ★★★★★ 112 186 レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 9 957 レビュー

1906年、バルセロナのグラシア大通りにある角地に、アントニ・ガウディは人生で最も革新的な民間建築の一つを設計しました。ペレ・ミラ夫妻からの依頼により始まったこのプロジェクトは、当時としては画期的な鉄筋コンクリート構造を用い、内部に耐力壁を持たない柔軟な空間を実現しました。市当局からの反対やセルダ計画との整合性問題にも直面しましたが、ガウディは強要された切り欠き角を有機的な入口へと変容させ、都市景観への統合を完璧に達成しました。

建設期間中は、波打つ石造りのファサードが「放棄された採石場」のように見えたため、通行人からラ・ペドレラ（石切り場）というあだ名が付けられました。当初は侮辱として投げかけられたこの呼び名は、今では誇り高いアイデンティティとなり、ガウディの自然主義的インスピレーションと数学的厳密さが融合した象徴となっています。1910年の完工時には、まだバルコニーの鉄装飾が取り付けられておらず、その後の追加によって現在の視覚的特徴が完成しました。

ガウディはこの建物において、懸垂線アーチという彼の主要な技法を極限まで追求しました。糸と重りを用いたモデル実験を通じて得られた幾何学的形状は、重力に対して最も効率的な支持構造を生み出し、内壁のない広大な空間を可能にしました。この技術的革新により、住戸のレイアウトに前例のない自由度が生まれ、モダニズム建築の新たな基準を設定しました。

1909年、内装に関する意見の相違によりガウディは現場を離れ、発注者との関係は完全な決裂に至りました。約105,000ペセタの未払い報酬回収訴訟を経て得た金額は、ガウディによって全額イエズス会に寄付されました。この行為は、彼が増大する宗教的献身と物質的財産からの離脱を示すものとなり、その後サグラダ・ファミリアへの専念へと繋がりました。1984年、ユネスコ世界遺産に登録され、今日でもバルセロナで最も訪れるべき場所の一つです。

体験

入り口のホールを抜けると、まず目に入るのは天井の高い空間と、曲線的な階段が織りなすダイナミックな動きです。光の演出が石の質感を際立たせ、冷たい石材が温かみを持って呼吸しているような錯覚を起こさせます。オーディオガイドの説明に従って視線を天井へ向けると、果物や葉の形をしたヴォールトキーが静かに微笑んでおり、建築が生きた自然構造を模倣していることを実感できます。

屋上テラスに足を踏み入れる瞬間、訪れる者は息を吞みます。彫刻的な煙突が空に向かって立ち並び、海獣や抽象的な形態が風を受け流しています。夕暮れ時の黄金色の光がこれらの形状に影を描き、三次元的な側面を明らかにします。バルセロナの街並みが眼下に広がり、ガウディが数学を詩へと変換した過程が、石一枚一枚に触れて理解できる特別な体験となります。



訪問の準備

実用的な情報

住所 Example地区 ・ 地下鉄: ディアゴナル (L3, L5) または プロベンサ (L3)、徒歩5分。	営業時間 季節により変動 (3月〜10月 vs 11月〜2月)。閉館1時間前まで入場可能。
料金 7歳未満の子供は無料。学生/シニア割引あり。	所要時間 ホール、モデルアパートメント、神秘的な屋根裏部屋、彫刻的な屋上テラスを落ち着いて探索し、完全な体験を保証するために1時間30分から2時間ご予約ください。
写真撮影 屋上を含むすべての場所で写真撮影が自由に許可されています。夕暮れ時の煙突を撮影するのに活用してください。	対象客層 家族連れ (遊び心のある形状) や建築愛好家に適しています。PMRの方には、屋上への急な階段にご注意ください。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

 地下鉄 : アラゴン / バレンシア – 5 min à pied バルセロナ駅 (7 min) ・ バルセロナ ・ エル ・ プラット 国際空港 (37 min)
 バス : ディアゴナル通り – 2 min à pied バルセロナ駅 (10 min) ・ バルセロナ ・ エル ・ プラット 国際空港 (59 min)
 レンタカー バルセロナ駅 (4 min) ・ バルセロナ ・ エル ・ プラット 国際空港 (46 min)
 ビシンク / 自転車 バルセロナ駅 (4 min) ・ バルセロナ ・ エル ・ プラット 国際空港 (61 min)

LOCALISATION

Où se trouve カサ・ミラ・ラ・ペドレラ？



 Passeig de Gràcia, 92 — 08008 バルセロナ

 41°23.723' N, 2°9.717' E



組織

階層別に見る建築の秘密

レベル0（エントランスホール）

入り口では、フランス語または英語のオーディオガイドを入手し、カーブの論理を理解するための基礎知識を得ます。高天井のホールでは、植物装飾のヴォールトキーを観察し、ガウディの自然哲学に触れます。エレベーターで主要階層へ移動でき、PMRの方にも配慮されたアクセス環境が整っています。

レベル2（メインフロア）

モデルアパートメントでは、耐力壁がないことによる空間の自由度を実感できます。弧を描く廊下と、海藻を連想させる鉄製バルコニーの詳細をアップで観察しましょう。窓からの光が室内に柔らかな影を作り、居住空間としての機能的優美さを示しています。

レベル5（屋上テラス）

神秘的な屋根裏部屋を経て到達する屋上は、270本の懸垂線アーチを支える柱の森が続きます。彫刻的な煙突群がバルセロナのパノラマビューと共に絶景を提供し、夕暮れ時は特に金色の光で際立ちます。子供たちのかくれんぼに適した遊び心のある形状も特徴的です。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

主要階層と屋上へのエレベーターアクセスがありますが、狭い歴史的エリアでは注意が必要です。

ファミリー向け

遊び心のある形状により子供にも適していますが、屋上テラスへの急な階段には注意してください。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選択

絶対に逃せない8つの瞬間

01 アントニ・ガウディ 屋上天井

屋上の彫刻的煙突群

海獣や抽象的な形態を持つ煙突は、夕暮れ時に黄金色の光を受けて最も美しく輝きます。これらの形状は単なる装飾ではなく、換気機能を果たしながらも芸術作品としての価値を持ち、ガウディにおける建築と自然のつながりを完璧に示しています。

💡 煙突の形状は、ガウディが自然界の生物からインスピレーションを得て設計したもので、カメルの背中のこぶを模したものとされています。

02 アントニ・ガウディ 屋根裏部屋

270本の懸垂線アーチ

傾斜した柱の森とアーチが織りなす空間は、産業用大聖堂のような神秘的な雰囲気を提供します。耐力壁なしでこの巨大な空間を支える構造は、ガウディの構造的才能を示す決定版であり、数学的に完璧なバランスを感じさせます。

💡 ガウディは糸と重りを用いた物理モデル実験を通じて、重力に対する最適な形状を導き出し、それを逆さにしてアーチ構造として実現しました。

03 アントニ・ガウディ ファサード

鉄製バルコニーの編み込み模様

波状または編み込み状のバルコニーは、海藻や様式化されたヴォールトキーを連想させます。金属要素の細部をアップで撮影することで、建築と自然の有機的な結合を視覚的に理解できます。ファサードの独自の視覚的特徴であり、モダニズムの控えめだが重要な詳細です。

💡 バルコニーのデザインは、漁網や貝殻の構造からインスピレーションを得ており、地中海の自然環境を反映しています。

04 アントニ・ガウディ メインフロア

植物装飾のヴォールトキー

天井を見上げて果物や葉の形をしたヴォールトキーを観察すると、建築が生きた自然構造を模倣すべきだというガウディの哲学が強調されます。植物装飾は単なる装飾ではなく、構造的役割を果たしながら美的価値を付加しており、モダニズムの特徴をよく表しています。

💡 各ヴォールトキーは異なる植物モチーフを持っており、季節の移ろいを象徴的に表現していると考えられています。

05 アントニ・ガウディ エントランス

有機的なエントランスホール

市当局が強要した切り欠き角を活用して作成された流れるような入口は、セルダ都市計画への建物の統合を示しています。曲線的な階段がダイナミックな動きを生み出し、訪れる者に最初の印象としてガウディの独特な美学を提示します。光の演出が石の質感を際立たせます。

💡 エントランスの設計は、市の規制を逆手にとって、むしろ建築の強みとしたガウディの創造的問題解決能力を示しています。

06 アントニ・ガウディ メインフロア

モデルアパートメントの自由空間

内壁がないためレイアウトに完全な自由度があることが、実際の居住空間で確認できます。弧を描く廊下と開放的な部屋の間は、伝統的な住宅概念を超えた新しい生活様式を提案しており、現代のオープンプランの先駆者と言えます。

💡 ペレ・ミラ夫人は、この柔軟な空間を利用して、パーティ開催時に壁を移動させて空間を再構成することができました。

07 アントニ・ガウディ 屋根裏部屋

屋根裏の柱の森

かつて干し草を保管するために使われたこの柔軟な空間は、空間を適応させることができたガウディの構造的才能を示しています。工業的な雰囲気の中で、270本のアーチが神秘的な美しさを醸成し、屋上に比べて人が少ないため静かに鑑賞できます。

💡 屋根裏空間は、農業用途から文化空間へと変貌し、建築の多機能性を証明しています。

08 アントニ・ガウディ 外観

ファサードの波打つ石造り

連続的な波打ちを示す石のファサードは、グラシア大通りから観察することで、セルダ都市計画への建物の統合をよりよく理解できます。石の連続性が直線を排除し、有機的な流れを創出しており、これが「ラ・ペドレラ」というあだ名の由来となりました。

💡 ファサードの石は、地元の採石場から調達され、職人によって一つずつ成形されました。

アドバイス

完璧な訪問のための実践指南

TIMING

必ず午後の最終枠を予約してください。夕暮れ時の屋上で煙突の彫刻が黄金色の光で際立ち、長い影を捉えることができます。朝の早い時間枠も混雑回避に適しています。

BILLET

オンラインでの事前予約を強くお勧めします。特にハイシーズン（7月～8月）や週末には必須です。グエル公園とのセットチケットを検討すると、予算とロジスティクスを最適化できます。

PARCOURS

エントランス→メインフロア→屋根裏部屋→屋上テラスの順に進みましょう。屋上を最後にすることで、夕暮れ時の最高の光条件で鑑賞できます。

PHOTO

屋上を含むすべての場所で写真撮影が自由に許可されています。夕暮れ時の煙突を撮影するのに活用し、鉄製バルコニーのアップも忘れずに撮影しましょう。

PAUSE

見学後、グラシア大通りの歴史的カフェで休憩し、通りからファサードを観察しましょう。外部視点により、石の連続的な波打ちと都市計画への統合をよりよく理解できます。

ENFANTS

家族連れに適していますが、屋上テラスへの急な階段には注意してください。らせん階段でのかくれんぼを楽しめる遊び心のある形状があります。

AUDIOGUIDE

入館時にすぐにフランス語版オーディオガイドをオンにしてください。カーブの論理や隠れた懸垂線アーチのおかげで内部に耐力壁がないことを理解するには不可欠です。

CONFORT

屋上への急な階段があるため、歩きやすい靴を履いてください。PMRの方にはエレベーターアクセスがありますが、狭い歴史的エリアでは注意が必要です。



よくある質問

よくある質問

ラ・ペドレラのチケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、オンラインでの事前予約を強くお勧めします。特にハイシーズン（7月～8月）や週末には必須です。時間枠は厳格であり、窓口は混雑している可能性があります。早期予約により、待ち時間を回避し、理想的な訪問時刻を選択する柔軟性を保つことができます。

チケットのキャンセルまたは変更は可能ですか？

ほとんどのチケットでは、予定された訪問日の24時間前まで無料キャンセルが可能です。購入時に販売者の特定の条件を必ず確認してください。この柔軟性により、予期せぬ変更があっても投資を失うことなくスケジュールを調整できます。

標準チケットとオーディオガイド付きチケットの違いは何ですか？

標準チケットは物理的な空間へのアクセスを提供しますが、オーディオガイドは理解のために不可欠です。懸垂線アーチや象徴性など、隠れた建築の詳細を理解するには必要です。人間のガイドがいなくても、このデジタルツールは曲線の論理を説明し、視覚的な体験を大幅に豊かにします。

プロモーションやコンボプランはありますか？

はい、多くの場合、2つの主要な見学を節約できるグエル公園＋ラ・ペドレラ コンボが存在します。カタロニア州住民やグループ向けの割引も適用される場合があります。バルセロナでの文化予算を最適化するために、季節限定のお得な情報をチェックしてください。

カサ・ミラの見学にはどれくらいの時間がかかりますか？

落ち着いて完全に見学するには、約1時間30分から2時間を見込んでください。これには、1階、メインフロア、アーチのある屋根裏部屋、そして屋上天井の探索に必要な時間が含まれます。バルコニーの詳細を楽しみ、ストレスなくパノラマビューを堪能するために、十分な時間を取ってください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

あだ名の逆転劇

ラ・ペドレラという呼び名は当初、驚いた通行人から投げかけられた侮辱でした。1906年当時、保守的なブルジョワ階級には波打つ石のファサードは放棄された採石場のように見えました。しかし今では誇りあるアイデンティティとなっています。

イエズス会への寄付

ガウディは約105,000ペセタの未払い報酬を取得した後、それを手元に残さず、全額をイエズス会に寄付しました。これにより、彼の増大する宗教的献身と物質的財産からの離脱を示しました。

最後の民間プロジェクト

1906年から1910年の間に建設されたこれは、アントニ・ガウディが手がけた最後の民間プロジェクトの一つです。彼はここで自然主義へのインスピレーションや懸垂線アーチといった主要な技法を用い、その後サグラダ・ファミリアに専念しました。

市当局との対立

市議会は、1859年のセルダ計画の厳格な範囲外での建設に強く反対していました。ガウディは強要された切り欠き角を活用し、流れるような有機的な入口を作成して、規制を創造的に克服しました。

博物館周辺

グラシア大通りは、モニュメントの間に高級ブティックやアートギャラリーが点在する文化的な動脈です。カサ・パトリヨは向かい側に位置し、「不和の島」としてガウディのスタイル進化を比較するのに最適です。見学後には、歴史のカフェでコーヒー休憩を取りながら、通りからファサードの波打ちを観察しましょう。さらにシウタデラ公園での日陰での休息や、ボーン地区のピカソ美術館への移動も可能です。公共交通機関アクセスが良好なため、バルセロナ全体の文化浸透をスムーズに計画できます。



カサ・ミラを訪れることは、単なる建築見学ではありません。ガウディの魂に触れる精神的な旅であり、直線が存在しない世界で数学的美学がどのように機能するかを体感する機会です。屋上の煙突が夕日に輝く瞬間、あなたは建築と自然が一体化した永遠の調和を目撃することになります。